



2019年11月6日

各位

上場会社名 株式会社 PALTEK  
 代表者 代表取締役社長 矢吹 尚秀  
 (コード番号 7587)  
 問合せ先責任者 取締役オペレーショナルサービスディビジョン本部長 井上 博樹  
 (TEL 045-477-2000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2019年12月期通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	250	200	115	10.50
今回修正予想(B)	29,500	250	150	75	6.85
増減額(B-A)	1,500	—	△50	△40	
増減率(%)	5.4	—	△25.0	△34.8	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	30,569	558	299	185	16.97

#### 修正の理由

通期連結業績につきましては、売上高は当初の予想を若干上回って推移する見通しです。これは、半導体事業において医療機器および計測機器向けなどのFPGA(※1)および通信インフラ向けの特定用途ICが堅調に推移すると見込まれるためです。

営業利益につきましては、ドル円相場が円高基調で進行したことにより、仕入値引ドル建債権の評価額の減少を含む為替レート変動によるマイナス影響が第3四半期連結累計期間において累計で295百万円発生し売上総利益の押し下げ要因となりましたが、売上高の増加が見込まれるため、想定通りに推移する見込みです。

この仕入値引ドル建債権は、一部の主要仕入先との取引方法において発生します。量産案件において特価を提示する場合、実際の仕入値の減額ではなく、当社がお客様に製品を出荷したことを仕入先に報告することによって、仕入先から仕入値の減額相当分の値引債権が発行されます。この値引債権がドル建であるため、為替相場の変動によりドル建債権の評価額が増減します。評価額の増減については、半導体製品の値決め時の為替レートと納入時の為替レートの差により発生するため、ドル円相場が円高に進行する際には評価額がマイナスになり、特に為替変動が急速である場合には評価額の増減幅が大きくなります。

経常利益につきましては、第3四半期連結会計期間において為替差損が57百万円発生したため、想定を下回って推移する見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に伴い想定を下回って推移する見通しです。

また、2019年11月6日(本日)に、「主要仕入先であるザイリンクス社製品販売における取引先の異動および取引形態変更に関するお知らせ」について公表いたしました。これは、当社の主要仕入先である米国Xilinx, Inc.(以下「ザイリンクス社」という)の製品販売において、2020年第2四半期より一部の大手顧客への販売を他代理店に移管することをザイリンクス社との間で合意したこと、および一部の大手顧客においてザイリンクス社が担当していた技術サポートに関する業務を当社が担当することについても、ザイリンクス社と合意したことを発表しました。これにより、当社グループの将来の業績に対して影響が生じることとなりましたが、当該事象については、2020年第2四半期からの影響となるため、2019年12月期の当社業績に与える影響は軽微であります。

詳細につきましては、2019年11月6日(本日)に公表いたしました「主要仕入先であるザイリンクス社製品販売における取引先の異動および取引形態変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと。

(※2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上